

平成 25 年度 事業報告書

1. 平成25年度を省みて

平成25年度は、当博物館にとりまして公益財団法人への移行、そして永年の懸案でもございました勝山市との連携を結ぶことがかない、改めて関係各位の博物館へのご理解、ご協力のお陰と、心からお礼申し上げます。

変化の目まぐるしい年が続いておりますが、東日本大震災をきっかけに政治や教育、文化までいろいろな意味で再検討を迫られております。

当館も公益財団法人としての最初の決算報告でもあり、公益法人認定要件である「収支相償」と定められている様式に従い公益事業・収益事業に分別しながら整理をいたしました。当然、親会社からの寄付や株の配当などが近年ない中で、博物館の性質上収支額は「マイナス」になっております。この事はネット上にも掲載されます。一見簡単のようで、ややこしい組織に生まれ変わり法的制約なども含めて、すべてが手探り状態での一年でございました。

一方、勝山市との連携が結べた事で、地域の文化資源の保存及びその活用が当館に於いて出来るようになりました。大切な文化財の散逸と劣化を防ぐ事も叶い、26年度からの特別展覧会がおおいに期待していただけるものと思います。

また、今後予想される10%の消費税増税、そして少子高齢化社会を考えますと、現在の社会構造をそのまま続けていくことは到底困難な事となってまいります。当館にとりましてもその影響は避けられないことで大きな不安定要因の一つとなります。従って、事業活動や広報活動などの取り組み方も考慮していかなければなりませんし、相当の知恵が必要となってまいります。

そんな中、8月には新しく林淳学芸員を迎え、高度な専門性を大いに発揮していただき、ホームページをはじめ博物館内外の事業環境整備につとめていただいております。博物館にとって最適なバランスで学芸員自身のモチベーションに基づく努力をお願いするものでございます。

この先、公益財団法人規定に基づき、博物館を挙げて取り組むべき仕事が多々あろうかと思いますが、財団役員の方々をはじめ、友の会や地域の皆様のご協力をうけつつ、今後も誠意を持って務めてまいりますのでどうぞ宜しくお願いいたします。

(1) 入館者の状況

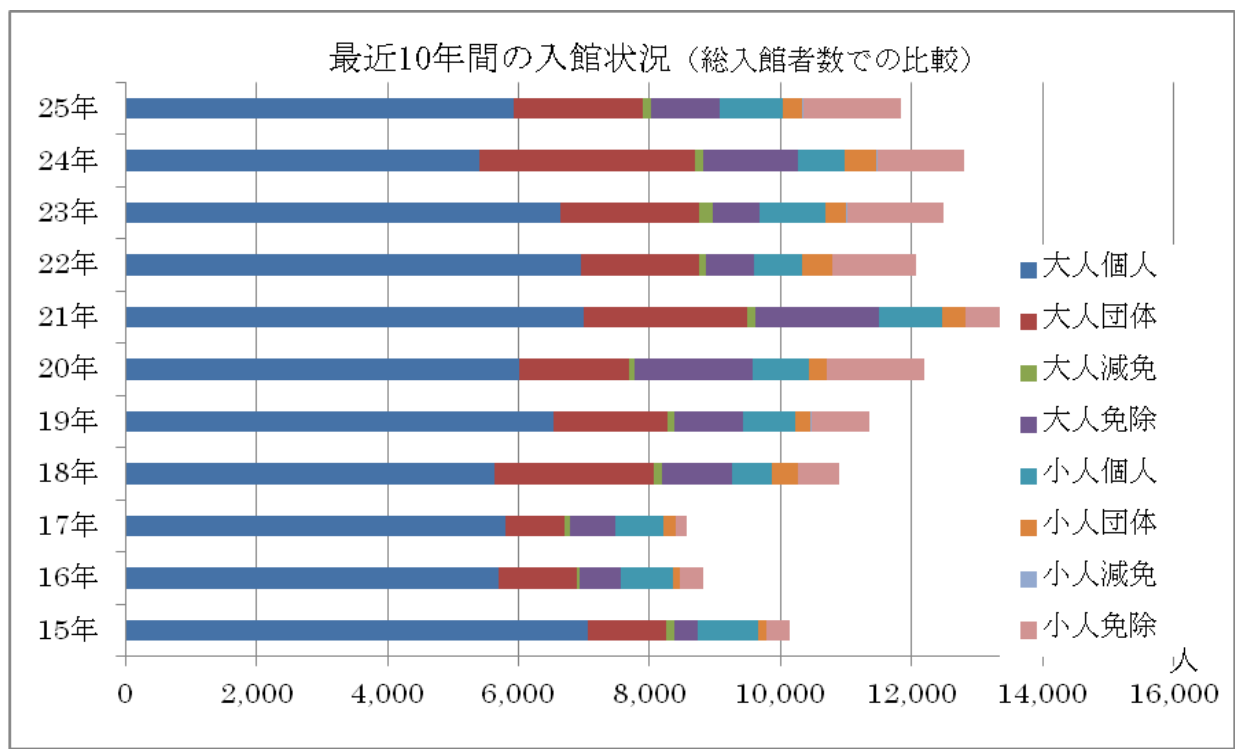
今年度入館状況

有 料 入 館 者 数				入館料 (円)
大 人	小 人 (小中高生)	減免者	合 計	
7,904 人	1,252 人	141 人	9,297 人	3,870,800 円

免 除 者 数				入館者総数	摘 要 その他は幼児、 障害者付添、友 の会員、イベン ト関係者、学校 引率、取材等
児童・生徒	公務等	その他	合 計		
544 人	60 人	1,933 人	2,537 人	11,837 人	

- 開館日数 313 日
- 1 日平均の入館者数 37.8 人
- 平成 19 年度以来の入館者 12,000 人割れということになりましたが、学芸員の交代に伴って特別展を止む無く中止せざるを得なかった状況の中でも、前年度比 7.5%減で踏み止まりました。これは、北陸最大級のお茶会として定着した清明茶会だけでなく、新たに開催したジャズコンサートやゴスペルコンサートなど各種イベントの積極的な展開も一役買ったと思われます。

勝山出身の書家西脇呉石による近代書家の一大コレクションの受け入れや、勝山市との連携に伴う展覧会への準備など、中心的な事業であるべき展示事業の更なる充実も今後期待できます。さらに、勝山市の学芸員では現在カバーしきれていない近代の書や、街道にまつわる歴史研究など独自の研究も並行してこれまで通り進め、より魅力ある展示を作り上げていこうと考えております。



(2) 常設展・企画展等の実施状況

①常設展示

6階は展望室となっており、勝山市街地や国史跡平泉寺旧境内を一望できます。

5階は展望室に加えて「平泉寺の歴史」を金栄健介氏の絵で紹介しています。

4階は特設会場での勝山の歴史を紹介する「勝山の歩み」コーナーと同会場での特別展示、そして「中国刺繍展示室」があります。

3階は大名家の甲冑を中心に武具や合戦図屏風、小袖などを展示。刀剣や着物は定期的展示替えを行っています。新年の特別陳列も行います。

2階は今井俊満作障壁画「日本の四季」、左義長紹介コーナー、茶会や会議に利用される和室があります。

1階は当館の100分の1模型、建設時の記録、多田清翁の紹介コーナーのほか、ミュージアムショップを設置しています。

②平成お天守塾第7回勝山城清明茶会

会 場 2階ホール、和室「蘭月の間」、北庭園東屋

期 日 4月21日(日)

チケット 茶券 6,000円 野点券 300円

参加者 196人

茶券販売 1,176,000円 野点券 5,400円 お祝金 299,000円 合計 1,480,400円

主 旨 茶道は日本の伝統文化の一つとして、「もてなし」と「しつらい」をもって日本的な美の世界、ぬくもりのある精神文化を生み出しています。



当館では、今回で7回目を迎え、それぞれのお流儀、先生方のご趣向を生かし、濃茶席、薄茶席、野点席、点心席を設け、茶の文化を地域に広めるため、継続事業として地元が無い大寄せ茶会を開催しました。

新聞・テレビ等のマスコミ関係に当館を取り上げていただき、福井県内外に当館のイメージアップや当館の存在を再認識していただけたことと思います。当館のお茶会ならぜひ出席したいと思っていただけることを目指し、さらに発展させていければと思います。北陸最大級のお茶会として県外にも名が広がり、様々な方においでいただけるようになり、大変光栄なことと感じています。今回も事業収支の段階で黒字を確保し、別途入館料収入を含めると85,971円の黒字となりました。

③納涼花火見物&ナイトミュージアム

会場 6階展望室

期間 8月14日(水)夜 入館者数 37人

【収入】合計 13,360円

主旨 花火見物は午後8時から9時まで、6階展望室に椅子を設置して行います。今回も展示室の夜間観覧を実施し、いつもと違った夜の博物館を体験していただきました。毎年少しずつ観覧者が増えて

いることは、花火見物の新たなスポットとして定着してきたということかと思えます。引き続き実施して博物館の新たな側面を認知していただければと思います。



④ゴスペルコンサート「お城でゴスペル」

会場 2階障壁画ホール

期間 9月15日(日) 入館者数 80人

【収入】合計 56,320円

主旨 人気を博していたクラシックのシャトール・コンサートがなくなったため、新たにゴ



スペルコンサートを企画いたしました。開館20周年記念では、東京からもプロのバンドを迎えて実施しましたが、今回は勝山のアマチュアグループによるアットホームなコンサートにしました。お菓子を召し上がりながら聞いていただくスタイルにしたことで、よりリラックスした時間を提供できたことと思えます。今後も地元団体の活動を盛り上げるコンサートとして開催していきたいと考えております。

⑤平成お天守塾第8回越前勝山城絵画作品展「お城を描こう」

会場 2階障壁画前ホール

期間 6月3日(月)～12月9日(月)

展示期間中入館者数 962人

【収入】合計 544,390円(うち補助金400,000円)

主旨 子供たちの豊かな想像性を育てる目的で創設した平成お天守塾の事業の一つとして開催する絵画作品展です。県内外の幼稚園・保育園・小中学校から広く募集し、表彰・展示しました。「ふるさとのお城」を描くことによって生まれる郷土の歴史への関心、ひいてはふる



さとを愛する心にも結び付けばと始まったこの作品展も8回目となりました。募集期間中は勝山城博物館に来て写生する子どもの姿も多く見られ、表彰式にも多くの親子連れにご参加いただきました。地域に根差した博物館をアピールする上でとても有意義な事業と考えております。

この事業はNPO団体の勝山市エコミュージアム協議会の補助金を得ており、上限である400,000円の補助を受けております。総事業費の20%は当館の支出である必要があるため、事業収支は赤字となりますが、表彰式、展示会では1,000名近くのご家族が来られました。

子どもの内からふるさとの施設に興味を持ってもらうことができれば、当館だけでなく勝山市の文化財行政にも良い影響を与えられるものと考えております。中長期的な視点に立って、今後も事業を継続していきたいと考えております。

⑥新春特別陳列 館蔵品展「賤ヶ岳の今昔」

会場 3階展示室の一部

期間 25年1月1日(水)～1月20日(月)

入館者数 335人

【収入】146,875円

主旨 当館の館蔵資料の中で、全国的にも貴重な賤ヶ岳合戦図屏風に焦点を当て、その内容を読み解くと共に、現在の賤ヶ岳の様子をパネルで展示することでより具体的なイメージを抱いてもらえるような展示を組み立てました。その他の屏風や新収品も合わせて特別公開いたしました。



主な展示資料

「賤ヶ岳合戦図屏風」「黒塗唐冠形張懸兜」「川中島合戦図屏風」「犬追物図屏風」「曾我物語図屏風」「白綾子地花筏文様打掛」「唐冠形兜」「隸書 漢尚方辟邪鏡銘」

(2) 主な文化・貸館事業

①月例茶会

会場 2階和室「蘭月の間」

期間 4回(5月から11月までの奇数月の第1日曜日)

利用者 大人81人、小人5人 1回平均 22人

主催 勝山市茶道連合会(荒井敏子代表)・勝山城博物館共催

勝山市茶道連合会に加入している7会派と協力して、茶道に親しみ博物館への理解を深めてもらうための文化活動の一環として始まった月例茶会も9年目を迎えました。

②越前禅定道修験者マラソン大会の開・閉会式場

日時 8月18日(日)

会場 駐車場

主 催 越前禅定道修験者マラソン実行委員会

参加者 150 人、スタッフ 10 人

毎年、勝山城博物館から出発し、宝恩寺山山頂、白山伏拝まで標高 1350m、距離 8.7k m を駆け上がるトレイルマラソンです。表彰式は勝山城博物館駐車場で
行っています。

③貸館事業

茶会やピアノ発表会等で利用されました。

6 月 23 日 山本ピアノ教室発表会

8 月 2 日 ファミリーコンサート

9 月 19 日 勝山大野ロータリクラブ合同例会

9 月 21 日 信州ジャズコンサート

9 月 22 日 勝山ロータリークラブ国際交流事業（和服の着付けとお茶席）

10 月 6 日 志野流茶道研究会

10 月 13 日 村井ピアノ教室発表会

10 月 15 日 奥越法人会絵本寄贈式

10 月 19 日 このみ会茶会

12 月 6 日 J A テラル越前女性会コンサート

1 月 19 日 このみ会初釜茶会

（3）その他の社会教育関連業務

①勝山城友の会活動

①講演会

「忍者・忍術は実在した」

講師 甲賀流忍術伴党二十一代宗家 三重大学特人教授 川上仁一氏

4 月 14 日（日）14 時 30 分～16 時 00 分 参加者数 36 人

会場 4 階ホール

②春の館外研修

兵庫県朝来市、鳥取県鳥取市〔研修部〕

5 月 28 日（火）、29 日（水） 参加者数 31 人

竹田城跡、グンゼ記念館、鳥取砂丘、砂の美術館
を見学

③写真教室

「楽しく勝山を写そう」〔文化部〕



講師 織田武志

第1回 5月11日(月) 参加者数 10人

第2回 11月9日(土) 参加者数 12人

④講習会

「勝ち虫トンボのブローチ手作り」〔文化部〕

講師 野尻敦子

10月26日(土) 参加者数 15人

会場 蘭月の間(和室)

⑤版画講習会〔文化部〕

講師 石畝弘、古川章

11月16日(土) 参加者数 6人

11月30日(土) 参加者数 8人

12月7日(日) 参加者数 8人

会場 4階ホール



⑥作品展示・撤収

越前勝山城「お城を描こう」絵画展の絵画展示ボランティア
友の会有志による

11月7日(木)、25日(月)(延べ33人)

②館蔵資料貸し出し

・「鉄鑄地六枚張突盃形兜」10月19日～11月24日

藩校開学三〇〇年記念「大名鳥居忠英と学者伊藤仁斎」展(壬生町立歴史民俗博物館)

③職場体験受け入れ

「地域に学ぶ”14歳の挑戦”職場体験学習」で勝山南部中学生3名の受け入れ
10月31日～11月1日

④学芸員による講演

・「書家西脇呉石」

1月28日 勝山ロータリークラブゲスト講演

会場 勝山市市民交流センター

・「公募絵画作品展「お城を描こう」が目指す市民意識の変化」

3月8日 「アートと地域再生」研究発表セッション講演

会場 福井市地域交流プラザ(AOSSA6階)

(4) 財団の運營業務等

1. 役員等の現況 (平成 26 年 3 月 31 日現在)

職 名	現 員	定 数	摘 要
評議員	9 名	3 名以上 12 名以内 (定款第 10 条)	
理 事	9 名	3 名以上 12 名以内 (定款第 22 条)	
監 事	1 名	3 名以内 (定款第 22 条)	

2. 職員等の配置 (平成 26 年 3 月 31 日現在)

職名・氏名	人 員	事 務 分 掌	摘 要
事務局長 深谷 久枝	1	財団・博物館の事務統括	博物館館長兼務
事業課長 林 淳	1	学芸・事業に関する事務の統括、 学芸業務全般	学芸員
総務課 酒井 治	1	庶務・会計事務の統括	総務課長代理 防火管理者
総務課 安田 修子	1	庶務・会計に関すること	
事業課 光仙 陽子	1	受付・案内等に関すること 友の会事務局担当	
清掃員 山西 陽子	1	博物館内外の清掃に関すること	パート雇員
合 計	6 名		

3. 理事会の開催状況

開催期日	会議の要旨	摘要
平成 25 年 6 月 14 日	<ol style="list-style-type: none"> 1 平成 24 年度事業報告書承認の件 2 平成 24 年度決算報告書承認の件 3 「定時評議員会の日時及び目的である事項等」の件 4 内部規定の一部改正の件 5 平成 25 年度事業計画書及び収支予算書の承認の件 6 学芸員任命の件 	理事全員の同意及び監事の異議の有無の確認書によりみなし理事会成立
平成 26 年 3 月 11 日	<ol style="list-style-type: none"> 1 平成 26 年度事業計画書(案)承認の件 2 平成 26 年度収支予算書(案)承認の件 3 「臨時評議員会の日時、場所及び目的である事項等」の件 	定例理事会会場 勝山城博物館

4. 評議員会の開催状況

開催期日	会議の要旨	摘要
平成 25 年 6 月 29 日	<ol style="list-style-type: none"> 1 平成 24 年度事業報告及び決算書類の承認の件 2 平成 25 年度事業計画書及び収支予算書の承認の件 	評議員全員の同意によりみなし評議員会成立
平成 26 年 3 月 29 日	<ol style="list-style-type: none"> 1 平成 26 年度事業計画書(案)承認の件 2 平成 26 年度収支予算書(案)承認の件 	評議員全員の同意によりみなし評議員会成立

5. 平成 25 年度財務会計の決算概要

平成 25 年度決算書類（資金ベース）の状況については第 2 号議案により詳細に報告することとし、ここではその主な概要のみを記載いたします。

項 目	金 額 (円)	摘 要
収入総額	8,313,334	
ア 基本財産収入	57,207	利息
イ 事業収入	7,535,550	入館料、展示・催事料金、賃貸料、施設等使用料、物品販売
ウ 補助金等収入	400,000	勝山市エコミュージアム協議会わがまち魅力醸成事業補助金
エ 負担金収入	17,500	看板地代
オ 寄付金収入	4,873	個人寄付金、募金
カ 雑収入	236,264	望遠鏡、自販機、コピー、利息、印刷物
キ 特定資産取崩収入	61,940	退職手当引当金取崩
支出総額	29,038,024	
ア 事業費	21,157,354	博物館事業、郷土芸能生涯教育振興事業、不動産賃貸事業、売店施設等利用事業
イ 管理費	5,390,420	法人会計（管理事務費）
ウ 特定資産取得支出	1,000,000	30 周年記念事業積立
エ 固定資産取得支出	1,490,250	屋外看板、床机台、赤毛氈
オ 予備費支出	0	
当期収支差額	△20,724,690	
前期繰越収支差額	41,704,062	平成 24 年度より
次期繰越収支差額	20,979,372	次年度への繰越額

以 上